

市民活動推進助成事業(区政推進基金) 寄附者のみなさまへ

みなさまの寄附金で、大阪を元気にする 8事業を実施しました!

～平成27年度 大阪市市民活動推進助成事業～

このたびは、市民活動推進助成事業(区政推進基金)へのご寄附ありがとうございました。
みなさまからいただいた寄附金を活用して、平成27年度は8事業を実施しました。
助成を受け、事業を実施している団体より、寄附者のみなさまへの報告が寄せられましたので、ご紹介いたします。
今後も、市民活動の推進のため、みなさまのご理解・ご協力をお願いいたします。

～みなさまからこんなにたくさんの寄附金をいただきました～

平成26年4月1日～平成27年3月31日		平成27年4月1日～平成28年3月31日	
寄附金額	5,945,211円	寄附金額	4,765,279円
寄附件数	13件	寄附件数	14件

クリックひとつでできる市民活動! クリック募金のご案内
平成21年10月より、「大阪市 市民活動のためのクリック募金」ホームページを開設しています。
協賛企業のバナーを1回クリックすることに3円が、協賛企業より寄附される仕組みです。
ぜひ一度ご覧ください!

【協賛企業一覧(掲載順・敬称略)】  で検索!

大阪シティ信用金庫	大阪信用金庫	(株)アルファテック
富士ゼロックスシステムサービス(株)	センコー(株)	大阪市民共済生活協同組合

事業報告(順不同)

事業名	～「移動動物園」から「地域の子どもは地域が育てる地域協働」を見通す～		
団体名	特定非営利活動法人自由空間倶楽部	助成額	144,000円

～助成事業を実施して～

最近の報道にも見られます様に、「動物虐待」から生じる子どもの「いじめ」と「異常行動」は、子どもの頃から生き物との接触に欠けている事からスタートしていると思われる。

そこで、「やさしさ」や「思いやり」という感情を形成するために、「移動動物園」を誘致し、積極的に小動物達との接触を図ることが重要と考えました。

また、大切なのは「移動動物園」を地域の公園へ誘致し、地域と学校と保護者が協力し共に「子ども達」を見守り、また、その為の「仕組み」を作り上げることだと思いました。

7月26日実施当日は暑い位の天候に恵まれ、200人の子どもたちと、延べ580人の参加者で淡路公園は満員の賑わいでした。これも、淡路連合振興町会を始めとして、各地域団体との協働の賜物と思います。

事業を通して今後の活動についても方向性を見出す事が出来ました。淡路公園愛護会を中心として子ども達への様々なイベントに取り組む事で一致しました。今回の参加者・各種団体・企業などの皆さんと共に、一層「地域協働」が大きくなり、地域の「協働関係」が生まれ、コミュニティが復活する事を目指したいと思えます。

写真やイラストなど



事業名	介護保険制度の「生活援助」におけるジェンダー平等に関する調査・研究		
団体名	高齢社会をよくする女性の会・大阪	助成額	450,000円

～助成事業を実施して～

高齢になると多くの人は身体が弱って病を抱えたり、認知症になったりしますが、命のある限り尊厳をもって自分らしく暮らしたいと考えます。そんな人たちの自立した暮らしをサポートするのが介護保険制度の「生活援助」です。多くの方が、この「生活援助」でどれだけ助けられてきたことでしょうか。正に「生活援助」は「自立生活の生命線」なのです。

ところが国は、目先の財源にとらわれて、この「生活援助」を介護保険から外し各自治体の事業に移行することを決めました。(17年度から各自治体で実施。一部スタートしている自治体も)「ひとり暮らしでも、介護保険があるから老後は安心!」だった筈の介護保険。真面目に保険料を払い続けてきたのに、いざ、助けてほしい!という時になって当てにならない介護保険では意味がありません。介護保険をより良いものにするために、高齢当事者の多い当会は黙ってはおれません。

そこで当会は、2013年度に行った「生活援助」に関する大々的なアンケート調査に引き続き、今年度は大阪市民活動推進助成事業等の助成を受けて125名の方にヒアリング調査を行い、より深く「生活援助」の実態に迫り報告書にまとめました。(125名の内 要介護認定者 介護経験者 介護保険被保険者 ケアワーカーの4群各約30名)

そして専門家(結城康博氏・井上由美子氏・福井英夫氏)を招いてのパネルディスカッション(3/12)や、他団体と共催のシンポジウム(2/16)等でその結果を報告し、社会に発信いたしました。今後とも国や自治体に政策提言し、より良い介護保険を次世代に引き継ぐため、活動を続けてまいります。

今回、ご寄附下さった皆さまのお蔭をもちまして、大変有意義なヒアリング調査、パネルディスカッション、シンポジウム等を行うことが出来ました。改めて心よりの感謝を申し上げます。



ヒアリングシートについて
討議するプロジェクトの
メンバー



3月12日(土) パネルディスカッション開催
 ・パネリスト (右から)
 結城 康博さん (淑徳大学教授)
 井上由美子さん (元徳西国際大学教授
 専任労働者社会福祉協議会
 介護保険部会委員)
 福井 英夫さん (元大阪市所長
 「徳なが居伴研究会」
 代表 理事)
 ・コーディネーター 植本 眞砂子
 (公益財団法人口リプロジェクト実行委員)

事業名	TCIF市民公開健康講座		
団体名	NPO法人日本血管映像化研究機構	助成額	434,000円

～ 助成事業を実施して～

TCIF市民公開健康講座はこの4月で10回目を数え、今まで心臓、血管の病気について様々なテーマでお話してまいりました。講演後のアンケートでは「大変わかりやすかった！次回もまた参加したいです。」、「大変難しい病気のように思っていたが話を聞き、病気と向き合うことでそうではないことに気づきました。」など毎回とても前向きな感想が多く寄せられております。

第7回では『大動脈の病気』についてお話をいたしました。[大動脈の破たん]、最近よく耳にする言葉ですが、この病気は突然発症し、助かる確率がほとんどゼロと言われております。講座ではこうした心臓、血管に関する病気について早期発見と予防的治療がいかに大切であるかをわかりやすく解説し、もしもの時、病気に立ち向かう姿勢と理解を深めて頂く機会になればと年に3回講座を開催しております。今後もこの活動は続けてまいりたいと思っておりますのでご支援の程よろしくお願いたいたします。

なお、次回（第11回）のテーマは『高血圧はなぜ怖いのか？』です。8/20（土）13時～サンケイブリーゼプラザ8階にて開催いたします。入場無料です。お誘いあわせの上、多くの方々のご参加をお待ちしております。

講座風景

第8回講座
 【大変役に立つ
 心臓、血管の画像診断の
 お話】
 (サンケイブリーゼプラザ
 8階)



第9回講座
 【動悸、脈がとぶ
 やさしい不整脈のお
 話】
 (サンケイブリーゼプラ
 ザ7階
 小ホール)

第10回講座
 【恐ろしい動脈硬化をふ
 せくには？】
 (大阪国際会議場)



事業名	体験で分かる「見えてる色はそれぞれ違う？」		
団体名	NPO法人 True Colors	助成額	68,000

～ 助成事業を実施して～

色覚問題のパンフレットを制作できたことは、すごく活動の広がりを感じるものとなりました。3月5日(土)・6日(日)の2日間、東成区役所ふれ愛パンジーにて、色覚体験イベントを行いました。東成区制90周年の公募型提案事業として「光と色のマジック」で、色は光でできていることをプロジェクションマッピングなどを使って解説したもので、子どもたちも楽しめるものでした。2日間で180名の方が来られ、市民活動推進助成事業で制作したパンフレットをお渡しすることができたのは大きな成果です。



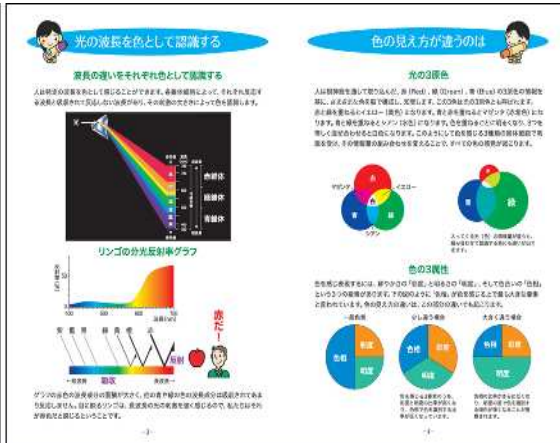
イベント告知リーフレット



会場入口



パンフレットとTrue Colors ブース



パンフレット(A5・12ページ)



イベント風景

事業名	子どもが輝く場所！冒険あそび場を体験しよう！！		
団体名	NPO法人 にしよど にこネット	助成額	150,000円

～助成事業を実施して～

「子ども達にもっと自由なあそび場を！」の願いから活動を始めた冒険あそび場ですが、運営スタッフのマンネリ化。プログラムのマンネリ化。参加者の固定化、低年齢化などの課題に苦しんでいました。「新たな参加者の開拓」と「運営スタッフのスキルアップ」が必要との思いから、大阪市民活動推進助成事業を活用して、「担い手育成連続講座」を開催。参加者の増員、活動のスキルアップと活性化。次世代スタッフの育成を目指しました。1「学習会」は、にしのみや遊び場つくる会の「米山清美氏」を講師に迎え、いまなぜ外遊びが必要か？西淀川区でどのような外遊びができるかを一緒に考えました。2「プレイパーク見学バスツアー」は、貝塚プレイパークに参加し、運営や安全面、活動内容について学びました。3「交流会」では、これまでの体験をもとに次に開催する冒険あそび場冬の巻での活動内容を考えました。4「冒険あそび場冬の巻」では、みんなの思いを実際の遊び場に反映させ、開催しました。5「振り返りの会」では、実際に活動して、感じた課題を出し合い今後の活動につなげました。この企画を行ったことで、新たに2名がスタッフとして登録されました。活動に参加した新旧メンバーで話し合うことで、新しい視点からも意見が出され、事業も活性化しました。スタッフ全員で、他所の遊び場に参加することで参加者目線で遊びを見直す良いきっかけとなり、感想を共有することで、新しいプログラムの導入にもつながりました。地域への効果としては父親支援グループが遊び場に参加してくれることになり、子育てに参加しにくい父親が積極的に関わることで、父親の子育て支援としてだけでなく、子育て家庭が地域との関わりを広げる場所になっています。地域で活動している団体や個人の人々が、遊び場に集ってくれることにより、参加者さんが地域の人々をつなげるきっかけにもなっています。今後も広報活動を丁寧に行い地域や世代を超えて人と人がつながる「あそび場作り」を目指し、活動に参加したいという思いを引き出し、気軽に参加し、一緒に創ることを楽しめるようにサポートしながら担い手育成にも努めます。ご支援いただきありがとうございました。

写真やイラストなど



事業名	&Class ~生活困窮者及び就労困難者の自立支援~		
団体名	特定非営利活動法人Homedoor	助成額	396,000円

~ 助成事業を実施して ~

HomedoorではシェアサイクルHUBChariなどを通じて、生活困窮状態の方やホームレス状態の方に雇用の場及び就労支援を提供しています。

自立に向けた支援を行うなかで、「就労」の支援だけでなく生活面での支援も重要であることを学び、&Class事業を立ち上げました。

&Class事業では、居場所づくり 社会参画やコミュニティの醸成 自立に役立つ健康や生活に関する知識を身に付ける、ことを目的として生活支援講座を実施しました。就労支援と生活支援講座を組み合わせることで、就労への意欲向上にも繋がり相乗効果もたらされました。

講座は全12回実施し、参加者は延べ人数で267名になりました。

参加者の方からは、「毎日生きていくのに必死で最近心から笑った記憶がなかったけど、今日は本当に笑えた。こんなに笑えたのは久しぶり」「(講座翌日に)昨日はぐっすり眠れた」「明日からも頑張っていこうと思えた」などの感想をいただきました。

平成27年度に生活困窮者自立支援法が施行され「中間的就労」などの就労支援が注目されていますが、就労支援だけでなく日常に楽しいことや学びの機会を増やすことで自立へ近づくということを本事業を通じて強く感じました。

今後も継続して実施していくと共に、当事者主体の講座の開催やボランティアをもっと多く巻き込んでいきたいと思えます。

写真やイラストなど



事業名	旭区大好き！楽しい子育て応援フェスタ		
団体名	特定非営利活動法人子どもセンターあさひ	助成額	155,000円

～ 助成事業を実施して～

11月1日に、地域で子育て応援フェスタとして、幼児・小学生の親子や子どもに関わる方々を対象にした「みんなのおまつり」を、旭区民センターの共用スペースを使用させていただき開催しました。旭区の地域活性化に取り組んでおられる団体のご協力のもと、地域のお店や手作り作家さんのショップや体験コーナーが多数出店し、小学生のお店、大阪府立旭高校の学生ボランティアさんのご協力によるあそびコーナーなどもあり、子どもも保護者も安心して楽しめるおまつりとなりました。ドキュメンタリー映画「みんなの学校」を上映し、親や地域ができること考える場をもちました。本助成を受け、旭・都島・城東区の小学校・幼稚園・保育園にてチラシを配布していただいたり、また旭区社会福祉協議会の後援も得て、広く広報いただき、当日は予想をはるかに超える700名ほどの親子さんの参加がありました。行政や地域団体・お店などと連携し、安心して楽しめるおまつりとなりました。出店者の方々の事後交流会でのご意見や学生ボランティアさんからの改善点なども活かし、今後も毎年秋に開催できればと計画中です。より地域での連携を深める機会となりえた有意義な取り組みとなりました。子育て環境を見なおし、安心して子育てができるような情報発信をし、あたたかい地域づくりに向け今後も取り組んでいきます。ご支援よろしくお願ひいたします。

おまつり会場の様子



あそびコーナー



体験コーナー



地域のお店コーナー



小学生のお店

事業名	地球温暖化低減のための「まちの中で自然と親しむ」セミナー事業		
団体名	特定非営利活動法人 イー・ビーイング	助成額	500,000円

～ 助成事業を実施して～

「まちの自然を10倍楽しもうセミナー」

- ・H27年11月、28年1月、3月の3回、週末の午後開催
- ・おおさか南港ATCに、幼児や小学生のファミリーを中心に80歳までバラエティに富んだ参加者が集まり、身近な自然について学び、楽しみました。

地球温暖化について知るセミナー、屋上菜園どこでもファームでの野菜の収穫や種まき、自然観察力をみがくネイチャーゲームなど、楽しく体験しながら自然をもっと知り、好きになるプログラムです。

こどもたちが、うれしい感想を寄せてくれました。

- ・ほんとにまちの自然を10倍楽しめました。 ・また、ここにきたいです。
- ・学校のみんな1年生の112人にもおしえたいくらいいたのしかったです。 などなど

都会に住む私たちはともすれば自然の恩恵を忘れがちですが、身近な自然に触れる体験や五感を駆使して自然を楽しむことを通じて、私たち一人ひとりが自然とつながり、地球とつながっていることを体感し、日常生活での地球温暖化低減行動につながることをめざします。

今後も、身近な自然について学び楽しむセミナーや、都市と森をつなぐ「森まなび塾。」などを開催する予定です。イー・ビーイングのHPなどに予定を掲載しますので、ぜひご参加ください。



温暖化についてのセミナー



野菜はどこを食べるのかな？ 根？花？



ラディッシュ収穫 土がふかふかでびっくり



木の鼓動を聴いてみよう 身近な自然が楽しくなる

平成28年3月16日(月)13:30～16:30大阪市役所屋上階P1会議室にて、平成27年度大阪市市民活動推進助成事業報告会を開催しました。